



5年生野外活動に行ってきました

9月29日(火)、30日(水)、5年生が曽爾高原へ野外活動に行ってきました。バスが到着した時に降っていた小雨が入所式の頃には止み、柔らかな秋の陽射しが子どもたちを迎えてくれたようです。

亀山登山では金色に揺れるススキの穂の景色の美しさを感じてくれたことでしょう。野外炊飯では、感染症対策のために、レトルトカレーを各自持ち寄り、温めて食べました。ご飯は、薪を組んで火をつけてお米を炊きました。仲間と協力して炊いたご飯と一緒に食べたカレーは思い出の味になったことでしょう。キャンプファイヤーでは暗闇を幻想的に照らす炎を囲みながら歌やゲームをみんなで楽しんだようです。翌朝は、運の良いことに眼下に雲海を眺めることができたようです。仲間といると肌寒さもどこか心地よく一日を始めることができたようです。ネイチャーエクスプロアリング(活動班ごとに協力しながら問題を解き、コースを回っていきます)では、五感を使って自然と親しんだようです。雄大な自然の中での仲間との生活から教室では学べない多くのことを学んで、みんな元気にこのあすか野に帰ってきてくれました。

この2日間を通して、協力、自主性、時間管理等、様々なことを学んでくれたことと思います。この貴重な経験を今後の学校生活に生かしてほしいと思います。



オンラインでキャリア教育

10月7日(水)、生駒市教育委員会所属キャリア教育プランナーの尾崎さん(千葉県在住)と6年生各教室をオンラインで結び、子どもたちに講演を行っていただきました。テーマは、「10年後の自分へ」。ご自分の自己紹介に始まり、どんな内容の手紙を書くのか、自分に向き合い、感情や自分の考えを言葉にすることの大切さなどを伝えていただきました。この手紙を書くことから、今の自分と将来の自分を考える6年生キャリア教育の始まりとなりました。

10月27日(火)には、地域学校協働本部のコーディネーターの方にお探しいただいた、地域在住の様々な職業の方にお越しいただき、なぜその職業に就いたかなどお話を聞く予定をしています。また、11月6日(金)には、県外の様々なキャリアを持つ方々とオンラインでつながり、子どもたちのキャリア観を広げる取組を予定しています。



第2回学校運営協議会

10月5日(月)、第2回学校運営協議会を開催しました。

今回は、学校予算、地域学校協働本部の活動等について、ご意見をいただきました。

○見守りの方は、登下校の安全を図ってくれているが、防犯面において正門の改修は必須である。運営協議会としても市へ要望したい。

○夏休み中に行った「家族であいさつチャレンジ」の影響で、2学期から挨拶が良くなった。やはり、教育の原点は家庭ではないか。

○放課後子ども教室「まなびいや」の人気があるが、ふれあいホールを借りていること及び時間割の都合で、月曜日が望ましい。今後、水曜日に考えていることもある。

○地域との合同防災訓練を企画したい。学校と地域が協力して実施していく方向で検討しましょう。

○学校周辺の駐停車について、近隣住民、市の生活安全課等から注意を受けているようだが、なるべく車に乗ってこないように学校から伝えてもらうとともに、保護者の意識を変えていってもらわなければならないのではないか。様々な事情の方もいらっしゃるのでは、せめて子どもが待っているところに車をつけることはできないか。

○教員が放課後の消毒を行っているが、所属団体でもお手伝いを考えたい。

○授業を参観させてもらったが、子どもたちは大変落ち着いて授業を受けている。大型モニターを活用して授業を行っているのは、子どもたちにとって分かりやすくて良い。

委員の皆様、ありがとうございました。次回は、3月頃に学校評価の結果を受けて、ご意見をお伺いする予定です。



運動会予行練習

10月13日(火)、運動会の予行を行いました。いつもなら午前中いっぱい使って行う予行も、本年度は運動会自体が午前中で終わる予定のため、2時間程度で終了。この予行で、子どもたちの動きや高学年の係活動の動きなどが確認できました。10月20日(火)は、いよいよ本番です。晴天に恵まれることを願っています。



運動会参観には、多くの方にお越しいただき、ありがとうございました。あいにくの雨で実施できなかった学年もありましたが、録画配信や写真のネット販売でお子さまの姿をご覧ください。